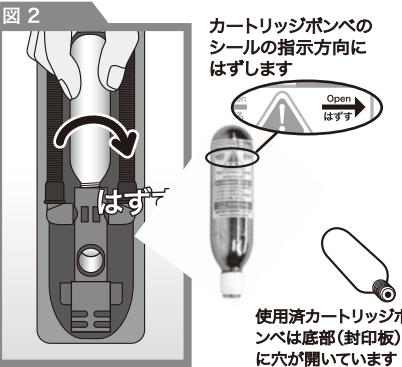
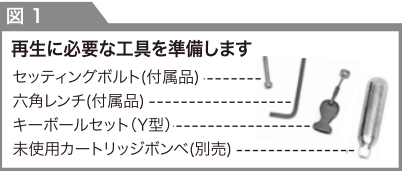


7-2 再生作業

キーボックスの再生作業

1. 再生に必要な工具を準備します(図1)

未使用のカートリッジボンベと再生に必要な工具の六角レンチとセッティングボルトを準備します。



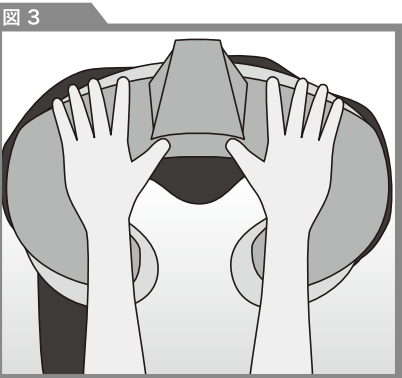
注意 ⚠️
カートリッジボンベはモデル指定のサイズ(容量)をご使用下さい。

2. 使用済カートリッジボンベを回してキーボックスから外します。(図2)

カートリッジボンベの付根はネジになっていますので、使用済カートリッジボンベを回しながらキーボックスから外します。

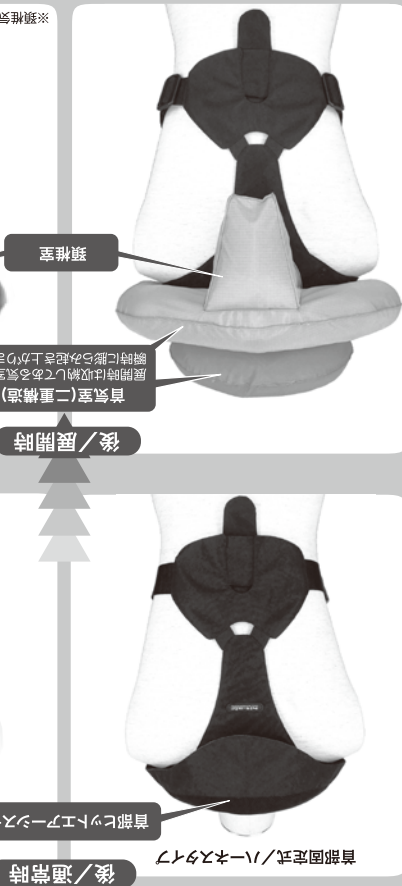
3. エアバッグ(気室)からエアーを抜きます(図3)

気室からガスを抜く作業を行います。突起物などの無い平坦な場所に首部ヒットエアーを広げて各気室部分を押しようにしてガスを抜き出します。丸めたり、畳んだりする行為はおやめ下さい。内部部品に損傷を与える場合があります。根気よく、ほぼ完全にガスが抜けるまで行って下さい。



次ページへ

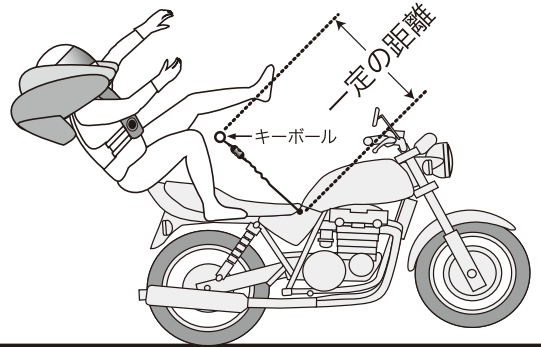
※モジュールによってサイズ・形状等は異なる場合があります



※(装着ウェア)ジャケット、シャツ、ハネス等で取外しが出来ます。

※(装着ウェア)ジャケット、シャツ、ハネス等で取外しが出来ます。

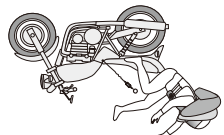
※(装着ウェア)ジャケット、シャツ、ハネス等で取外しが出来ます。



- バイクと共に、衝突・転倒しバイクと着用している首部ヒットエアーが一定の距離を離れない場合は作動しません。
- 首部ヒットエアーは、膨張した気室以外の場所は、衝撃緩和の効果はありません。
- 首部ヒットエアーを着用し、バイクから降車する際に、ワンタッチリリースの取り外しを怠り、一定の距離離れ、約30kg~35kgの力(4-3 キーボックス(P12)参照)がかかった場合も、キーボールが抜け、作動しエアバッグが膨らんでしまいます。誤操作に十分注意して下さい。誤操作防止のためワンタッチリリースの取付け・取外しは、バイクに股がった状態で行って下さい。
- 一度作動したカートリッジボンベは使用できません。サイズ(容量)の合った未使用のものとお取り替え下さい。

19

10



8. ワンタッチなどで一度作動した首部ヒットエアーシステムを、やむをえずお客様が再生させる場合は、以下の点に注意して下さい。
○ヒットエアーの外傷(キズ・穴)等がない事を確認する。
○作動した時に、エアバッグが膨らんだ事を確認する。
○予備のカートリッジボンベは、ジャケット指定のサイズ(容量)で未使用のカートリッジボンベである事を確認する。
上記を確認した上で、問題がなければ、お客様の責任に於いて再生して下さい。異常がある場合は、正常に作動しない場合があります。

9. 7. 作動の際、外傷の出来たヒットエアーは、取扱店や当方でメンテナンスの上、上部ヒットエアーを新しいものに取り替えて再びご利用下さい。著しい外傷、部品破損の場合は、再生出来ない場合があります。

10. 6. 走行中において何らかの原因により誤って作動してしまった場合は、慌てずみややかに安全な場所へバイクを移動し、首部ヒットエアーシステムを脱衣して下さい。そのまま走りまわすと、膨らんだ気室等によって大きな風圧を受け、不安定な状態となり大変危険です。

11. 5. 膨らんだ気室が、大きな衝撃や鋭利な障害物により破損した場合は、気室前部の炭酸ガスが直ぐに抜け落ちてしまいます。
4. 瞬時に膨らんだ首部ヒットエアーシステムは、身体に多少の圧力がかけられますが、徐々に炭酸ガスが抜けていくようになります。事故により膨らんだ状態で車両に挟まれたり、圧迫をうける状態になっても落ちる恐れはありません。
3. 事故等により現場が危険な場合、安全な場所へ避難してから脱衣して下さい。

12. 2. 現場の状況に合わせて慌てずに、脱衣して下さい。
1. 首部ヒットエアーシステムは、特に首を保護するために、膨らんだ際周囲に圧力がかけられます。そのため、着用しているヘルメットのどこかひもが取れにくくなったりする場合がありますが、その際はフロントアースターやパッド等を外して、左右気室を後方にずらし(右図)圧力を解消して下さい。

13. 1. 着用した首部ヒットエアーシステムが作動し膨らんだ状態になった場合、以下の点に注意して下さい。